

CSAJ 活動 pickup

2020年7月～2020年12月

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

CSAJ 活動 pickup

2020年7月～2020年12月

2020年7月から2020年12月までに行った主な活動を pickup してご紹介します。

本誌では、委員会・研究会活動等のうち、企画・実施したもの、調査・研究を行ったものを中心に、事務局の各担当がとりまとめました。なお、委員会・研究会活動の経過内容等については割愛していますが、ご興味・ご関心を持たれた活動がありましたら、ぜひご参画ください。

また、新型コロナウイルスの影響を引き続き受け、会合やセミナーはオンラインやハイブリッドでの開催となりましたが、これまで参加が難しかった地方の会員企業の皆様をはじめ、いままで以上に多くの皆様にご参加・ご聴講いただきました。

今後も、全国どこからでも参加でき、聴講だけでなく意見交換についてもオンラインで開催可能ですので、全国の会員企業の皆様には、改めて、ぜひ、ご参画くださいますようお願いいたします。

内容

SOLARWINDSのサイバー攻撃に関する緊急注意喚起.....	2
令和2年度「情報化促進貢献個人等表彰」企業等部門でサイボウズ株式会社が経済産業大臣賞受賞.....	3
政策提言・意見交換.....	4
イベント.....	5
ビジネスマッチング.....	9
情報提供セミナー・説明会.....	12
今後開催予定セミナーのご案内.....	29
ニュースリリース.....	32
報告書.....	35
実施事業.....	36
ご案内.....	38

SolarWinds のサイバー攻撃に関する 緊急注意喚起

2020年12月13日に米国のセキュリティベンダーFireEye社は、SolarWinds社の商用アプリケーションを利用した極めて高度なサイバー攻撃が発見されたと発表しました。

この攻撃は極めて巧妙で2019年12月から始まり、長期間に渡って社内情報やクラウドの電子メール、ストレージから情報を窃取していたことが判明しています。同様の攻撃が日本国内でも発生しうる可能性が高いと判断し、緊急注意喚起を行います。

⚠️ 攻撃の手順

1. 攻撃者はSolarWinds社の開発環境に侵入しました。
2. 続いて、密かに同社のIT資産監視・管理ソフトであるOrion Platformのプログラムの一部を改ざんし、外部の悪意のあるサーバーとの通信を行うSunburstと呼ばれるプログラム（バックドア）を取り付けました。
3. SolarWinds社はバックドアの取り付けに気が付かず、正規のアップデートパッケージとして電子署名を行い同社の顧客にアップデートを配布しました。
4. 顧客がアップデートをインストールすると、SunburstはOrion Platformの通信を偽装して、外部の悪意あるサーバーからさまざまなマルウェアをダウンロードします。キーストロークを窃取し、ネットワーク内で水平展開を試み、特権昇格を行います。
5. また、組織内の認証情報を利用してクラウドサービスの認証連携を行うシングルサインオンのシステムも攻撃されており、クラウド上の電子メール、ストレージの情報も窃取していることが確認されています。

これにより、同社の顧客である米国政府、企業で幅広い情報漏洩が発生しています。

⚠️ 攻撃の悪性

この攻撃は1年以上発覚しておらず長期間に渡って悪意のある情報窃取を続けていました。また、SolarWinds社の製品を使用していない企業でも、SolarWinds攻撃と同じ戦術、技術、手順で感染した組織があることも明らかになっています。これは、攻撃者が他の製品に対して同様のサプライチェーン攻撃を利用している可能性があることを示しています。

⚠️ アクションすべき事項

この攻撃は対岸の火事ではなく、すでに日本国内でも同様の手法が使われている可能性があり、場合によっては自社の開発環境が汚染されている可能性があります。

1. 経営者はこの攻撃が世界中で発生している可能性を認識し、社内とサプライチェーンに対して、セキュリティの強化を呼びかけて下さい。
2. 開発責任者とセキュリティ担当者、システム管理者の方は、至急、以下の項目をチェックして下さい。
 - ・ C&Cサーバーである avsvmcloud[.]com との通信の調査（サブドメインは後述のリンクを参照）
 - ・ IP アドレス: 20.140.0[.]1 (2020/12/25 現在)
 - ・ 不正なアカウントが作成されていないかの調査（海外の IP からのアクセス等）
 - ・ 多数のログオン失敗がないかの調査（RDP、クラウドを含む）
(Windows の場合、セキュリティログ Event ID 4625 の多数の存在)
 - ・ SolarWinds 社の製品を導入している場合は、次のリンクから、掲載されているプログラムの存在をチェックする
<https://gist.github.com/KyleHanslovan/0c8a491104cc55d6e4bd9bff7214a99e>

万一、通信が確認された場合は、以下の措置を講じ、至急、CSAJ 宛てにご連絡ください。Software ISAC が防除に協力します。

- ・ avsvmcloud[.]com と通信しているシステムからネットワーク接続（イーサネットケーブルや Wi-Fi など）をすべて外します。
- ・ ネットワークデバイス（ファイアウォールやスイッチなど）を介して avsvmcloud[.]com との間の通信を遮断します。
フォレンジック調査のため、電源は遮断しないでください。
- ・ Note PC の場合、パーソナルファイアーウォールで 20.140.0[.]1 との通信を遮断します。
- ・ 企業全体のすべての資格情報をリセットします。
- ・ 管理者を含むすべてのユーザー、すべての SSH 鍵、すべての電子証明書、クラウド管理者の資格情報、SPN など、ソースコードに攻撃がないか、すべての情報資産の調査を行います。
- ・ 攻撃は長期間に渡っていることから、過去のバックアップや仮想スナップショットも侵害されていることを想定して下さい。

■ CSAJ 連絡先 : security_info@csaj.jp

令和2年度「情報化促進貢献個人等表彰」 企業等部門でサイボウズ株式会社が 経済産業大臣賞受賞

経済産業省では、経済社会の情報化の促進に貢献したと認められる個人・企業等（企業、団体、教育機関等）を表彰する「情報化促進貢献個人等表彰」を行っており、本年度は5件の経済産業大臣賞が決定しました。

CSAJ では、毎年表彰に相応しい「個人」「企業等」を正会員の皆様より募集し、総務委員会で審査の上、CSAJ からの個人・企業候補として経済産業省に推薦しております。

令和2年度情報化促進貢献個人等表彰については、令和2年11月27日付で受賞者が発表され、企業部門でCSAJ 推薦のサイボウズ株式会社様（代表取締役社長 青野慶久、CSAJ 副会長）が、経済産業大臣賞を受賞されました。

受賞を心よりお祝い申し上げます。

企業等の名称	サイボウズ株式会社
代表者	代表取締役社長 青野 慶久

業績

「情報技術を用いた新型コロナウイルス感染症対策への貢献」業務アプリ開発プラットフォーム「kintone」を通じた自治体及び厚生労働省の新型コロナウイルス感染症対策業務の効率化の支援や、新聞広告・テレビCMを通じたコロナ禍におけるテレワークの重要性の社会への訴求などを通じて、新型コロナウイルス感染症への情報技術を活用した対策を行うにあたって大きな貢献を果たした。

政策提言・意見交換

2020年7月17日(金)

経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課へ中国サイバー関連「データセキュリティ法案(意見募集稿)」に関する意見を提出

2020年7月14日(火)に、経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課より照会のありました中国サイバー関連「データセキュリティ法案(意見募集稿)」について、関連委員会へ照会を行い、寄せられた意見を、2020年7月17日(金)に、経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課へ提出しました。

2020年8月31日(月)

日本 IT 団体連盟へ政策要望を提出

日本 IT 団体連盟より加盟団体向けに告知がありました政策要望募集について、政策委員会を中心に要望(経済活動の活性化早期実現、人づくり国民会議の創設、オンライン教育の充実、銀行法の改正、所得税法・法人税法・消費税法・電子帳簿保存法および関係法令の改正、マイナンバーの特定個人情報からの除外またはカード仕様変更、ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤーの再構築)をとりまとめ、2020年8月31日(月)に、日本 IT 団体連盟へ提出しました。

2020年9月3日(木) / 2020年11月6日(金)

GIGA スクール構想と学校教育のDX化推進に向けた経済産業省との意見交換

2020年9月3日(木)、プログラミング教育委員会において、政府動向を把握するとともに、GIGAスクール構想で予測される課題解決と学校教育におけるDX化推進を支援すべく、経済産業省 教育産業室 室長 浅野大介氏と意見交換を実施、ITを専門とする、我々IT業界の目線が重要であるとして、まずは会員企業に対し、GIGAスクール構想の普及と運用、さらに学校がDX化するために必要な取り組みについて、意見募集を行うこととしました。

「GIGAスクール構想と学校教育のDX化推進に向けた意見募集」

実施期間：2020年9月16日～2020年10月5日、対象：CSAJ会員企業、回答：10社/23件

2020年11月6日(金)、各社からあがった意見をとりまとめ同省へ訪問、意見内容を報告するとともに、学校教育のDX化に向け、今後も業界団体としてサポートしていきたいとして、改めて協力する旨をお伝えしました。

2020年9月11日(金)

総務省へ「ブロードバンド基盤の在り方に関する研究会 第1期論点整理(案)」に対する意見を提出

2020年8月13日(木)～9月11日(金)までの期間、総務省総合通信基盤局 電気通信事業部 事業政策課より公示されましたブロードバンド基盤の在り方に関する研究会 第1期論点整理(案)に対する意見募集について、政策委員会・法務知財委員会を中心に意見をとりまとめ、2020年9月11日(金)に、総務省総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課へ意見を提出しました。

2020年11月12日(木)

独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)と定例意見交換会を実施

2020年11月12日(木)、オンラインにて、独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)との定例意見交換会を行いました。(参加：IPA 10名、CSAJ 13名)

本意見交換会は、定期的にCSAJ幹部(会長・副会長等)とIPAが情報や課題を共有することにより、今後の施策策定の一助とすることなどを目的として実施されています。今回IPAからは、セキュリティセンターからの事業紹介(リモートワーク関連のセキュリティガイドのWeb公開、安心相談窓口の活動、情報セキュリティ白書2020の発刊等)、社会基盤センターからの事業紹介(DX推進指標/DX認定制度、デジタルアーキテクチャ・デザインセンター(DADC)、モデル取引・契約書事業へのご協力の御礼、AI白書2020/人材白書2020の発刊等)、人材育成センターからの事業紹介(情報処理技術者試験の2区分のCBT方式での実施等)、IPA-DXの取り組みなどについて説明がありました。CSAJ側からは、Software ISACの活動紹介、U-22プログラミングコンテスト2020実施状況説明、人材関連活動報告(iCDの取り組み、次世代AI事業〈厚生労働省受託〉、就職氷河期対策事業〈厚生労働省受託〉)、ソフトウェアプロダクトオブザイヤー(仮)についての説明、人づくり国民会議とGIGAスクールについて説明するとともにIPAへの要望等について説明があり、その後、意見交換が行われました。

2020年12月23日(水)

総務省へ「新たな日常」におけるインターネットのサービス品質確保に向けた提案に対する意見を提出

2020年12月3日(木)～12月23日(水)までの期間、総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 データ通信課より公示されました「新たな日常」におけるインターネットのサービス品質確保に向けた提案募集について、当協会で意見をとりまとめ、2020年12月23日(水)に、総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 データ通信課へ意見を提出しました。

イベント

2020年9月25日(金)

CSAJ 令和2年会員感謝の集い

2020年9月25日(金)、会員様との交流の場を設けるべく、また、経済再開のきっかけとすべくCSAJ「会員感謝の集い」をThe Okura Tokyo 平安の間にて開催いたしました。

会員感謝の集いは、スペシャルゲストとしてお迎えした、新内閣発足でデジタル改革担当大臣に就任された平井卓也様にご挨拶を頂戴しました。その後、荻原紀男会長による挨拶があった後、新体制紹介としてCSAJ役員が壇上に上がり、荻原会長の乾杯のご発声で会はスタートしました。続いて、2019年10月～2020年9月入会の会員を紹介し、ソーシャルディスタンスを十分に確保した会場内では、和やかな歓談が行われていました。

会の中盤では、吉本興業の若手芸人ミキによる漫才で会場を盛り上げていただき、続いて行われた、会員企業様のご提供による豪華賞品の抽選会では、吉本興業の若手芸人ミキとバンビーノにご参加頂き、大いに盛り上がりました。

最後は、杉本淳一副会長による中締めで、盛況の内に終了しました。
(参加者 309名)



イベント

2020年10月20日（火）～23日（金）

CEATEC 2020 ONLINE 開催報告

一般社団法人電子情報技術産業協会、一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会、一般社団法人コンピュータソフトウェア協会の3団体で構成するCEATEC実施協議会は、2020年10月20日（火）～23日（金）の会期にて「CEATEC 2020 ONLINE（シーテック 2020 オンライン）」を開催し、延べ13万人以上がオンラインで来場しました。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、史上初の完全オンラインでの実施となった本年は、「CEATEC -Toward Society 5.0 with the New Normal（ニューノーマル社会と共に歩むCEATEC）」のスローガンのもと、ニューノーマル社会の多様なソリューションやテクノロジーを広く発信。

CEATEC 2020 ONLINEには、3つの展示エリア（ニューノーマルテーマエリア、企業エリア、Co-Creation PARK）に356社/団体（出展申込数）が出展し、うち164社/団体は今回が初めて出展、海外から計71社/団体が参画しました。

- 出展者数 356社/団体（2019：787社/団体）
- 来場者数 130,661名（2019：144,491名）



■CEATEC 公式 Web サイト

<https://www.ceatec.com/ja/>

イベント

プロジェクトみらい (仮)

Lightning Talk

「リモートワークで直面する非対面型コミュニケーションとは? ~コーチングのやり方とか、人事考課(評価)ってどうして?~」

(主催: プロジェクトみらい (仮))

開催日: 2020年10月14日(木)

会場: オンライン (Zoom)

参加実績: 20名

講演概略: コロナ禍で定着しつつあるリモートワーク。働く場所や時間がバラバラでもお互いに納得できるコミュニケーションが必要になり、またこの就業環境の中、人材育成をどのように行っていくのが良いのかを皆で事例を共有しながら「これから」を参加メンバー間でフラックなグループディスカッションを実施。

プロジェクトみらい (仮) x 地域 IoT 推進委員会共催セミナー (Hybrid 開催)

「次世代のリーダーに向けて~シンギュラリティビジネスにおけるエクスポネンシャル思考~」

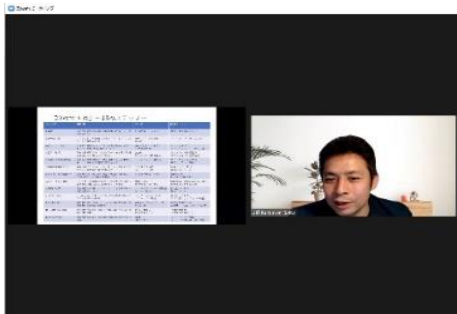
(共催: プロジェクトみらい (仮) / 地域 IoT 推進委員会)

開催日: 2020年12月4日(金)

会場: オンライン (Zoom) + 大阪会場

参加実績: 63社 91名

講演概略: 地域 IoT 推進委員会とプロジェクトみらい (仮) が共催で大阪会場と全国をオンラインで結び、「次世代のリーダーに向けて~シンギュラリティビジネスにおけるエクスポネンシャル思考~」と題してセミナー/パネルディスカッション/懇親会を開催。セミナーではこれからの時代に必要なエクスポネンシャル思考とはどのようなものかを齋藤和紀氏より解説していただき、このテーマについて、豊田副会長/田中副会長を交えて3名によるパネルディスカッションで意見交換を実施。終了後にはハイブリット懇親会として OSK 日本歌劇団によるミニレビューショーを観覧。



イベント

2020年11月7日(土)

第12回CSAJ会長杯親睦会

(主催：交流委員会)

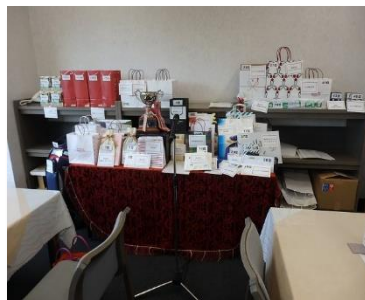
2020年11月7日(土)、CSAJ第12回会長杯親睦会(交流委員会主催)が「多摩カントリークラブ」で開催されました。

当日は、コロナ禍の中ではあったものの、過去最大の総勢13組52名の皆様にご参加いただきました。

開会式では、最初に荻原会長のご挨拶をいただき、交流委員の村瀬委員長より、今回初参加となる方をご紹介いただいた後、ルール説明が行われました。その後、OUTコース、INコースに分かれて、プレーが開始されました。

皆さま日頃の腕前を競いつつ、ビジネスやプライベートの話などで親睦を深めていました。

プレー後は、表彰式と懇親会が行われ、第12回会長杯親睦会は、盛況のうちに終了しました。



ビジネスマッチング



第 135 回アライアンスビジネス交流会

(共催：交流委員会、一般社団法人日本コンピュータシステム販売店協会)

IT 企業同士のビジネスマッチングの場を提供し、互いにビジネスパートナーを見つけていただくことを目的とした交流会

開催日：2020年7月30日(木)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：27社 41名

プレゼンテーション1：[株式会社エイトレッド](#)

発表製品分類：ワークフローシステム

発表製品名：・「X-point」 ・「AgileWorks」

プレゼンテーション2：[株式会社バリューソフトウェア](#)

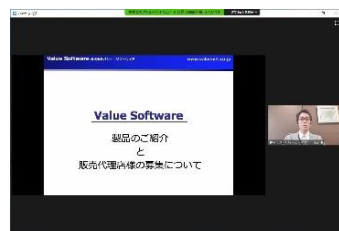
発表製品分類：社内コミュニケーションツール

発表製品名：Grazie Coin

プレゼンテーション3：[株式会社 ZenmuTech](#)

発表製品分類：PC からの情報漏えい対策

発表製品名：ZENMU Virtual Desktop



CSAJ/JIET/JASPA/IVIA 共催 ビジネスマッチング商談会

(共催：交流委員会、JASPA、JIET、IVIA)

2020年10月9日(金)、一般社団法人コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)、[全国ソフトウェア協同組合連合\(JASPA\)](#)、[特定非営利活動法人日本情報技術取引所\(JIET\)](#)、[一般社団法人IT検証産業協会\(IVIA\)](#)の4団体共催によるビジネスマッチング商談会がオンラインで開催されました。初のオンライン開催に伴い、これまでと異なる事前予約制を導入致しましたが、約70名の方にご参加いただき、大変盛況な会となりました。

開催日：2020年10月9日(金)

会場：各社オンライン会議システム

出展企業：9社

参加実績：71名

ビジネスマッチング



第136回アライアンスビジネス交流会

(共催：交流委員会、しまねソフト研究開発センター)

IT企業同士のビジネスマッチングの場を提供し、互いにビジネスパートナーを見つけたいことを目的とした交流会

開催日：2020年10月13日(火)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：28社47名

プレゼンテーション1：[株式会社アイ・コミュニケーション](#)

発表製品分類：通信機器(インターネットテレビ電話)

発表製品名：インターネットテレビ電話 LeChien

プレゼンテーション2：[株式会社エーティーワークス](#)

発表製品分類：クラウド入退室管理システム

発表製品名：iDoors クラウド V2

プレゼンテーション3：[エクスウェア株式会社](#)

発表製品分類：テレワーク向け顔認証就労管理

発表製品名：カオミル リモートワーク

プレゼンテーション4：[WIBU-SYSTEMS 株式会社](#)

発表製品分類：ソフトウェア保護およびライセンスのソフトウェア

発表製品名：CodeMeter



ビジネスマッチング



第137回アライアンスビジネス交流会

(共催：交流委員会、一般社団法人日本コンピュータシステム販売店協会)

IT企業同士のビジネスマッチングの場を提供し、互いにビジネスパートナーを見つけていただくことを目的とした交流会

開催日時：2020年12月1日(火)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：41社/団体 59名

プレゼンテーション1：[株式会社サイシード](#)

発表製品分類：・AIチャットボット・AIFAQページ

発表製品名：・sAI Chat・sAI Search

プレゼンテーション2：[株式会社バース情報科学研究所](#)

発表製品分類：クラウドによるドローン撮影画像整理サービス

発表製品名：「バース D-Photo+」※

※上記名称は仮称であり、今後変更する可能性があります。

プレゼンテーション3：[株式会社ジーネクスト](#)

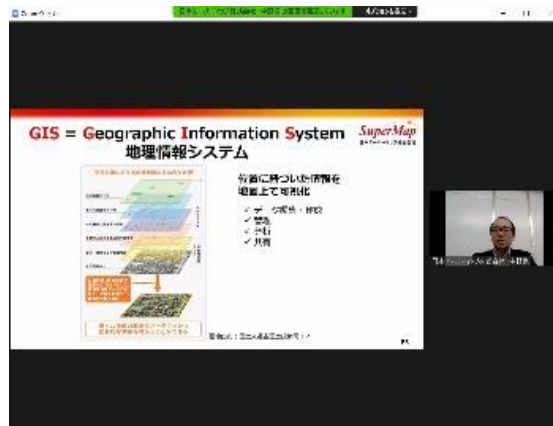
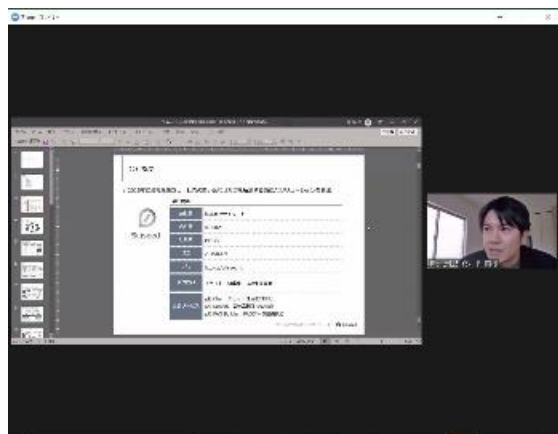
発表製品分類：顧客対応DXプラットフォーム

発表製品名：お客さまの声からビジネスチャンスの「発見」を支援するクラウド型SaaSプラットフォーム「Discoveriez」

プレゼンテーション4：[日本スーパーマップ株式会社](#)

発表製品分類：測量事業者等向けのGIS(地理情報システム)機能

発表製品名：SuperMap GIS「GeoAI画像認識」



情報提供セミナー・説明会

会員向けビデオアーカイブ

●会員向けビデオアーカイブとは...

セミナー当日に受講できなかった方や、受講後に社内への情報共有として活用したい方向けに、CSAJで開催したセミナーや講演会、説明会等で撮影したビデオや当日資料を視聴・閲覧出来るページです。



※視聴・閲覧はCSAJ会員限定となっております。

※タイトル冒頭に📺のアイコンがあるセミナーは、アイコンをクリックするとアーカイブページに遷移いたします。遷移後に要求されるユーザ名とパスワードは、毎月2回会員向けに配信させていただいておりますCSAJ NEWSに記載されています。

政策

📺 第36回経営力向上セミナー

(主催：経営力向上研究会)

開催日：2020年7月29日(水)

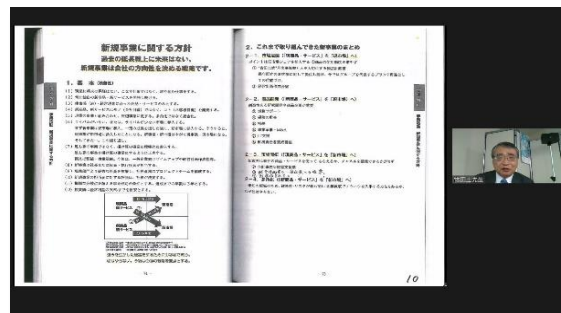
会場：オンライン (Zoom)

参加実績：24社24名

タイトル：古田土満氏が登壇！ すぐに役立つ経営指南～人を大切にする「経営計画書」と「理念の金太飴」で、日本の中小企業を元気に～

講演者：古田土 満 氏 (株式会社古田土経営 代表社員)

講演概略：中小企業の経営者に向けた理念づくりや、経営者が陥りやすい財務・経営の勘違いなどを再認識することをテーマについてご紹介。



情報提供セミナー・説明会

法務・知財

第 35 回座談会

(主催：法務・知財委員会)

開催日：2020年8月5日(水)

会場：オンライン(Zoom)+CSAJ 会議室

参加実績：43社 59名

タイトル1：テレワーク導入のアプローチ～トラブル回避の留意点と労務管理のポイント～

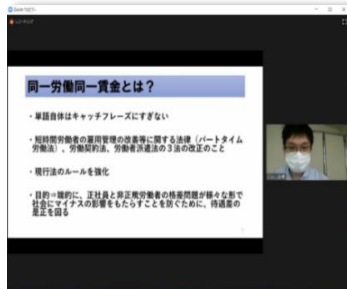
講演者1：末 啓一郎氏(ブレイクモア法律事務所 パートナー(弁護士))

講演概略1：コロナ禍以前から注目してきたテレワークに関する制度の実務的留意点について OODA ループや PDCA サイクルを交えて説明。組織としての取り組み、労使関係上の問題、業務体制の整備などについて解説。

タイトル2：最近の法務知財の旬な話題について

講演者2：辻井 敦氏、山口 峻氏(いずれもブレイクモア法律事務所 弁護士)

講演概略2：「同一労働同一賃金への実務対応」について解説。判例動向を踏まえて、賞与や退職金に関する判断例や基本給や賞与に関する考え方などを考察。



企画講座【全3回】「令和時代の労働雇用問題～コロナ禍やニューノーマルの様々な労働雇用問題における対応を整理～」〈第1回〉

(主催：法務・知財委員会)

開催日：2020年11月27日(金)

会場：オンライン(Zoom)

参加実績：10社 12名

タイトル：コロナ・パンデミック状況下での様々な労働問題(1)

講演者：末 啓一郎氏(ブレイクモア法律事務所 パートナー(弁護士))

講演概略：業務命令をめぐる問題『出社命令、(海外)出張命令、マスク着用・抗体検査受診命令、私生活上の指示の可否、検温・体調報告指示など』、休業をめぐる問題『休業を命じる場合の休業手当の支払いに関する問題など』、人件費削減、雇用調整をめぐる問題『賃金の切り下げなどの不利益変更、契約社員の雇い止め、派遣契約の終了、整理解雇などの問題』などについて解説。

情報提供セミナー・説明会

人材

未曾有の事態だからこそ、業務を見える化する人材スキル標準 iCD (i コンピテンシ ディクショナリ) を活用しよう！「iCD 事例体験セミナー」

(主催：iCD 活用研究会)

開催日：2020年7月28日(火)

会場：CSAJ 会議室

参加実績：5社5名

講演者：木田 徳彦氏 (一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ) 理事 人材委員会 副委員長/
iCD 研究会 主査/株式会社インフォテック・サーブ 代表取締役)

井上 淳氏 (iCD 活用研究会 特別講師/BRIDGE 代表)

講演概略：「iCD とは何か？」の説明から、iCD をすでに活用されている企業様の事例をご紹介後、実際に iCD を活用して、参加者の企業に実在する社員の業務遂行能力をタスクに当てはめ可視化し、ヒートマップを作成することを模擬体験。



新型コロナウイルス感染拡大の中での統合医療によるセルフケア

～テレワークによるストレスマネジメント～

(主催：健康経営推進研究会)

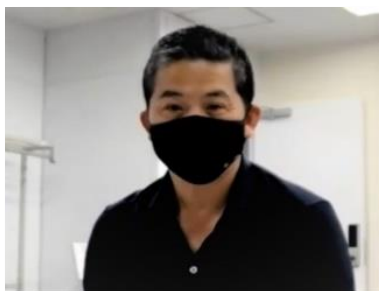
開催日：2020年7月31日(金)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：23社46名

講演者：板村 論子氏 (心療内科医、統合医療アール研究所所長)

講演概略：テレワークの長期化によって、コミュニケーション不足や運動不足から心身へのストレスをより感じている人も多くなってきている。これらのストレスを軽減するために一人一人ができる統合医療によるセルフケアについてを紹介。また、食事・運動・睡眠など生活スタイルの改善による予防策も含め、ストレスマネジメントとして重要であるメンタルケアについて、4・7・8呼吸による簡単なリラクゼーションも説明。



情報提供セミナー・説明会

人材

「CSAJ 会員企業の iCD 活用事例」パネルディスカッション

(主催：iCD 活用研究会)

開催日時：2020年8月31日(月)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：23社28名

ファシリテーター：木田 徳彦氏 (一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ) 理事 人材委員会副委員長/
iCD 研究会 主査/株式会社インフォテック・サーブ 代表取締役)

パネリスト：五十棲 一智氏 (株式会社システムリサーチ 執行役員)

大熊 浩氏 (日本ナレッジ株式会社 取締役)

川澄 翔太氏 (株式会社フォーラムエイト/システム開発 Group)

講演概略：iCD への知見がない方にもわかりやすく、ビジネス目標の達成に必要な組織や要件の洗い出しから、iCD 協会での取り組み事例等を紹介。パネルディスカッションでは、パネリストたちがそれぞれの企業でどのように iCD を導入し、活用しているのかを説明し、導入して良かったことや、これからの課題などを共有した有益な情報交換を実施。



DX 時代を担う人材育成にあたって

(主催：人材委員会主催)

開催日：2020年10月15日(木)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：48社54名

タイトル1：アーキテクチャ設計力強化に向けた日本政府・IPA の取組について

講演者1：河野 孝史氏

(独立行政法人情報処理推進機構 社会基盤センター アーキテクチャ設計部 副部長)

講演概略1：今回のセミナーでは、独立行政法人情報処理推進機構の河野様より、Society 5.0 に向けて、様々な取組を明確につなげ、一つの共通ゴールを目指すために、“アーキテクチャ”という考え方が重要になってきていること、ソフト・ハードだけでなく、法制度・ガバナンス・産業構造を含む社会システムの全体最適や、各主体の役割分担・関係性明確化を図っていくためのアーキテクチャ設計の場として、DADC が設立されたこと、DADC は、課題や人材を集めながら、仲間を増やし初速の最大化と活動のスケール化を図っていることについて紹介。

タイトル2：国土交通省における DX・建設 ICT 関連の取組み、今後必要な人材について

講演者2：中西 健一郎氏 (国土交通省大臣官房 技術調査課 課長補佐)

講演概略2：今回のセミナーでは、国土交通省の中西様より、建設産業の現状、建設現場の生産性向上“i-Construction”、データとデジタル技術を活用した新たな働き方への転換及び国土交通データプラットフォームについて説明。



情報提供セミナー・説明会

人材

就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業第1回訓練（IT 検証技術者コース、システム運用技術者コース）開催報告

期 間：2020年10月1日（木）から11月27日（金） 40日間

会 場：ウチダ人材開発センター 8階 研修室

参加実績：IT 検証技術者コース 5名（内2名が途中辞退）

システム運用技術者コース 6名

修了条件：IT 検証技術者コース IT 検証技術者レベル1合格

システム運用技術者コース 情報ネットワーク・セキュリティ検定1級合格

実 績：IT 検証技術者コース

IT 検証技術者レベル1合格者 2名/3名 修了率 66.7%

システム運用技術者コース

情報ネットワーク・セキュリティ検定1級合格 5名/6名 修了率 83.3%

※合格者の内2名はCCNA取得



<初日の主催者挨拶 IT 検証技術者コース・システム運用技術者コース>

情報提供セミナー・説明会

人材

セルフデベロップメント／在宅勤務ノウハウ発見編

(主催：人材育成研究会)

開催日：2020年10月21日（水）

会場：オンライン（Zoom）

参加実績：41社53名

タイトル：セルフデベロップメント／在宅勤務ノウハウ発見編

講演者：佐野 雄大氏（株式会社ウチダ人材開発センタ 顧問）

講演概略：在宅勤務における「働きやすさ」「在宅勤務ノウハウの発見」、および、在宅勤務における生産性向上策について解説いただきました。今回のセミナーではzoomのブレイクアウトルームを活用し、セミナー参加者の皆様が5名ごとのグループに分かれ、各グループごとに在宅勤務に関して活発な意見交換を実施。



With コロナの時代の人づくり、チームづくりとは。

(主催：人材育成研究会)

開催日：2020年12月15日（火）

会場：オンライン（Zoom）

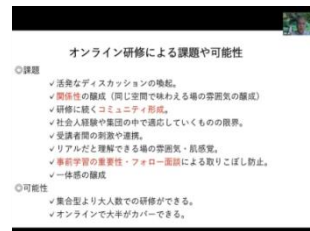
参加実績：28社37名

タイトル：With コロナの時代の人づくり、チームづくりとは。

講演者：酒井 章氏

（株式会社 the creativejourney 代表、青山学院大学社会情報学部プロジェクト教授）

講演概略：いま起こっている変化と課題、それらの変化にどう対応するかについて紹介。今回のセミナーではZoomのブレイクアウトルームを活用。参加者が5名のグループに分かれ、自社で感じている変化や課題等に関して活発な意見交換を実施。



情報提供セミナー・説明会

人材

IT 人材不足対策セミナー

-就職氷河期世代（IT 検証技術者/システム運用技術者）の人材発掘と企業とのマッチングに向けて-

(主催：CSAJ キャリアサポートセンター)

開催日：2020年11月20日（金）

会場：オンライン（Zoom）+ CSAJ 会議室

参加実績：22社 32名

タイトル1：挨拶

講演者1：荒原 勝行 氏（厚生労働省人材開発統括官付政策企画室 室長補佐）

講演概略1：厚生労働省人材開発統括官付政策企画室 室長補佐の荒原氏から参加企業へお礼と就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業の取り組みについて説明。

タイトル2：事業概要紹介

講演者2：山本 祥之 氏（カリキュラム等策定委員会 委員長）

講演概略2：CSAJ が当事業を受託したあらましから大学生の減少及び70歳定年制に向けた説明、訓練受講生の基本知識の習得について説明。

タイトル3：本事業で育成する人物像について

講演者3：IT 検証技術者コース 藤井 洋一 氏（一般社団法人 IT 検証産業協会 会長）
システム運用技術者コース 土肥 茂雄 氏（株式会社ウチダ人材開発センタ）
育成する人物像-就業力醸成- 渡辺 裕子 氏（CSAJ 事務局）

講演概略3：IT 検証技術者コース、システム運用技術者コースの目指すべき人材像と各訓練の概要、訓練カリキュラムを説明。最後に就業力を育成するためにキャリアコンサルタント面談の実施、社会人基礎力育成研修について説明。

タイトル4：採用環境と応募者意識 CSAJ 専務理事

講演者4：笹岡 賢二郎 氏（CSAJ 専務理事）

講演概略4：雇用環境（有効求人倍率、失業率の変化）、IT 人材の量と質の不足感や動向、IT 系業務の給与水準と評価、IT 業界の新型コロナウイルスの影響、訓練生の傾向分析を説明。

タイトル5：就職支援について

講演者5：桶本 真史 氏（CSAJ 事務局）

講演概略5：就職支援の全体像の説明後に各支援の詳細を説明。求人票のご提出を依頼。最後に助成金の活用を説明と今後の訓練スケジュールを説明。



情報提供セミナー・説明会

国際

中国深センの現状と新しいオフショアモデル（ベトナム）

～アジア現地企業がリアルタイムで登壇～

(主催：アジアビジネス研究会)

開催日：2020年7月27日(月)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：46社 70名

タイトル1：中国発イノベーションの現状と伊藤忠深センの取組み

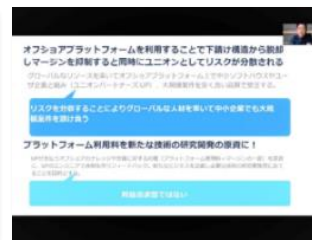
講演者1：雪 慶軍 (ゆき けいぐん) 氏 (広州伊藤忠商事有限公司深セン分公司 プロジェクトマネージャー)

講演概略1：中国のイノベーションが急速に進み、スマホ決済等技術の裏に、「ニューエコノミー」企業群が台頭し、巨大なエコシステムを形成しています。深セン現地の伊藤忠駐在員である雪様より、中国発イノベーションの現状と伊藤忠深センの取組みと最新のイノベーション技術について説明。

タイトル2：絶対に失敗しないオフショア開発 ～神田バレー構想～

講演者2：瀬川 草 氏 (パスカリア・アジア CEO&Founder)

講演概略2：人、プロセス、組織開発の切り口から5年で売り上げ3億(最終利益率20%強)の会社に成長した理由を共有し、今後の構想(神田バレー)についても紹介。



アフリカで広がる IT ビジネス～知ることから始まる可能性～

(主催：国際委員会)

開催日：2020年9月8日(火)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：27社 34名

タイトル1：リープフロッグ in アフリカ

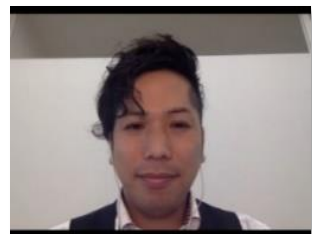
講演者1：原 ゆかり 氏 (株式会社 SKYAH 代表)

講演概略1：ラストマイルロジスティクスやホームソーラーシステムの普及など、フィンテックを活用したビジネスの広がりが顕著なアフリカについて、革新を続けるサブサハラ以南アフリカ数カ国のスタートアップ事例、また2012年以来、アフリカ各国の起業家たちとの仕事を通して感じてきたことや、各国の状況の変化、コロナ禍における対応などについても説明。

タイトル2：Muraho Rwanda!

講演者2：中西 波瑠 氏 (株式会社 神戸デジタル・ラボ デジタルビジネス本部 IoT班)

講演概略2：神戸市が進めるルワンダ共和国との ICT 分野における経済・交流連携の一環でルワンダを訪問し、ルワンダの学校と情報技術支援で提携したり、雷被害に対し ICT による軽減策として「雷観測リストバンド」を提案するなど積極的な活動を行っている神戸デジタル・ラボの中西様から、2016年よりルワンダにアプローチを続けてきた神戸デジタル・ラボ流の IT ビジネスの事例紹介やルワンダ国内での IT 事情について説明。



情報提供セミナー・説明会

国際

アフリカ IT ビジネス最新情報セミナー

～ヨハネスブルグ（南アフリカ）からリアルタイム登壇～

(主催：国際委員会)

開催日：2020年12月10日（木）

会場：オンライン（Zoom）

参加実績：17社22名

タイトル1：アフリカビジネスの最新動向と進出日系企業動向

講演者1：佐藤 丈治氏（独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）海外調査部 中東アフリカ課 課長）

講演概略1：アフリカの変化、飛躍するアフリカビジネス、アフリカビジネスの現実、コロナ禍のアフリカ及び進出日系企業の動向について説明。

タイトル2：アフリカにおける ICT 概況

講演者2：川崎 大佑氏（独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）ヨハネスブルグ事務所）

講演概略2：アフリカの ICT 概況、アフリカの ICT 利活用動向、アフリカのスタートアップ概況、今後、アフリカ ICT・デジタル市場への参入をどう考えていくかについて説明。



情報提供セミナー・説明会

技術

コロナ・シンギュラリティ時代のテクノロジー ～コロナ後、テクノロジーは世界・ビジネス・働き方をどう変えるか～

(主催：技術委員会)

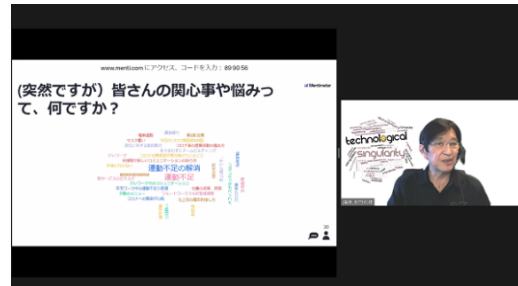
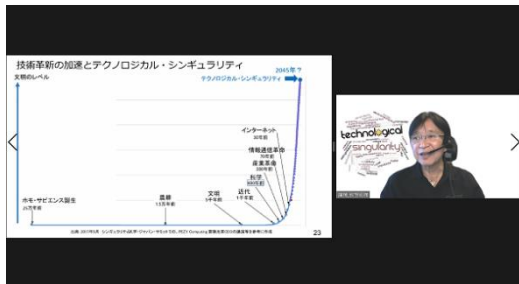
開催日：2020年7月2日(木)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：28社 35名

講演者：牧野 司氏 (慶應義塾大学 訪問教授)

講演概略：With コロナを見据え、既存・新規のIT技術を活用することによっておこる「ニューノーマル」や、ビジネスモデルの変化を推測し、今後の組織・経営体制も含めて検討するセミナーを企画・開催、デジタル・エクスポネンシャル・アバンドランスの3つのキーワードから、様々なコストが不要となり、これまでの組織の概念を変革していく必要があることなどについて講演。



イノベーションのカギを握るデザイン経営 ～After コロナ社会は「人＝ユーザ」目線が重要～

(主催：UX Tech 研究会)

開催日：2020年7月7日(火)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：23社 40名

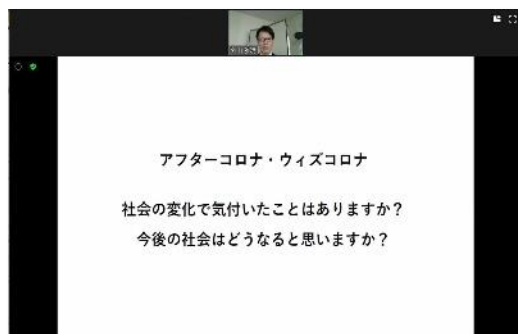
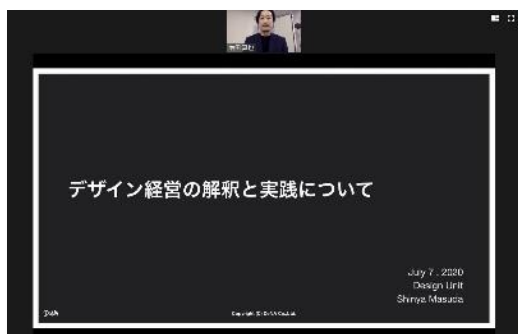
講演者1：増田 真也氏 (株式会社ディー・エヌ・エー 執行役員 デザイン本部長)

講演概略1：デザイン経営の解釈と位置付けについて-DeNAにおけるデザイン経営の実践について-5年以上前から企業全体で取り組んできた経験をもとに、時代の流れに応じて考え方を抜本的に変える必要があること、組織全体で取り組む必要があること、そして手足を動かしたユーザとの対話が大切であることなどについて講演。

講演者2：外山 雅暁氏 (特許庁 デザイン経営プロジェクトチーム 総括チーム)

講演概略2：なぜ今デザイン経営なのか

「デザイン経営宣言」発信した背景と、実際に特許庁で行ったデザイン経営の取組み事例について講演。



情報提供セミナー・説明会

技術

「Society 5.0 時代に向けた横浜市の ICT ニーズと方向性について」

(主催：AI・量子計算技術研究会)

開催日：2020年7月20日(月)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：26社 38名

タイトル：Society 5.0 時代に向けた横浜市の ICT ニーズと方向性について

講演者：福田 次郎氏 (横浜市 最高情報統括責任者補佐監・最高情報セキュリティ責任者補佐監・最高データ統括責任者補佐監)

講演概略：人口 375 万人の日本最大の直接自治体である横浜市では、Society 5.0 時代に向け、ICT によるさまざまな課題解決や価値創造に取り組んでいます。それらの取り組みを紹介しながら、シーズ発想ではなくニーズ発想で、地方自治体や住民が、AI や IoT などの ICT に求めているニーズについて説明。



XR ソリューションの可能性と課題～XR を導入し、最先端のワークフローへ～

(主催：UX Tech 研究会)

開催日：2020年9月15日(火)

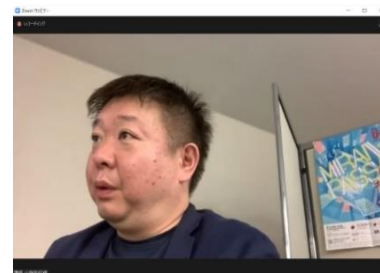
会場：オンライン (Zoom)

参加実績：19社 31名

タイトル：XR ソリューションを導入し、最先端のワークフローへ

講演者：山路 和紀氏 (株式会社プレミアムアーツ 代表取締役)

講演概略：XR についての事例と導入するうえでの課題などについて、自社製品の事例を交えながら説明。



情報提供セミナー・説明会

技術

～第三次 AI ブームの総括とアフターコロナ時代の AI 活用～

(主催：AI・量子計算技術研究会)

開催日：2020年9月18日(金)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：62社 68名

パネリスト：岡田 陽介氏 (株式会社 ABEJA 代表取締役社長 CEO 兼 共同創業者)

高部 陽平氏 (ボストンコンサルティンググループ Managing Director & Partner)

樋口 拓人氏 (日本マイクロソフト株式会社 Azure AI プロダクトマーケティングマネージャー)

マスク・ド・アナライズ氏

モデレータ：竹原 司氏 (AI・量子計算技術研究会主査、株式会社デザイン・クリエイション最高顧問)

講演概略：この3年間に渡る AI ブームを総括すると同時に、アフターコロナの世界で求められる AI 活用に関して、ベンダー、ユーザ、アナリストを代表する方々の参加を得て、リモート・パネルディスカッションを開催。



DX を推進させる「ローコード高速開発プラットフォームによるアプリケーション開発手法」

(主催：技術委員会)

開催日：2020年10月8日(木)

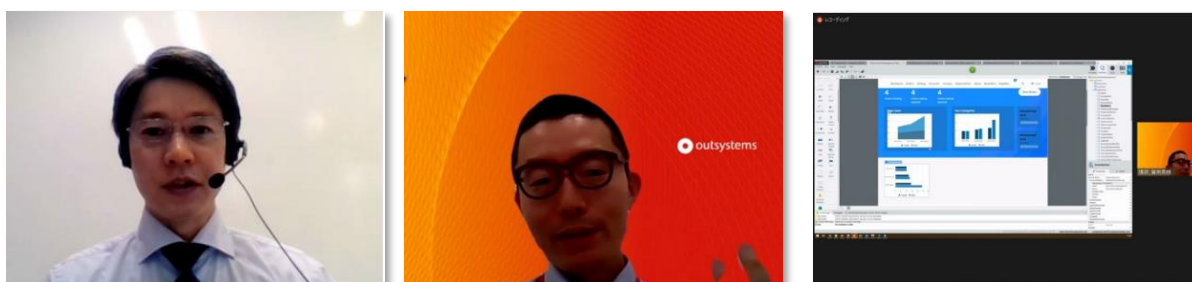
会場：オンライン (Zoom)

参加実績：22社 46名

講演者：菅野 カ斗氏 (Outsystems ジャパン株式会社 ビジネスディベロップメント部)

廣瀬 晃氏 (OutSystems ジャパン株式会社 ソリューションアーキテクト チームリード)

講演概略：ローコード全体の動向とポルトガル発の OutSystems についてをご紹介いただいたのち、ほぼノンプログラミングで、ドラッグ&ドロップを中心とした操作で、短時間でアプリケーション開発ができるか、デモンストレーションを交えて説明。



情報提供セミナー・説明会

技術

量子コンピュータ入門 -- 量子コンピュータと人工知能

(主催：AI・量子計算技術研究会)

開催日：2020年10月16日(金)

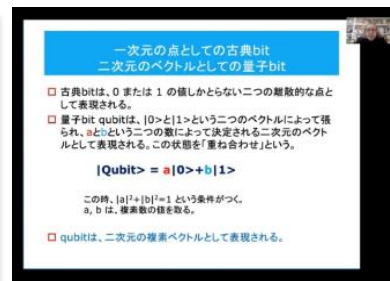
会場：オンライン (Zoom)

参加実績：32社34名

タイトル：『量子コンピュータ入門 -- 量子コンピュータと人工知能』

講演者：丸山 不二夫氏 (丸山事務所 代表)

講演概略：量子コンピュータ・量子アルゴリズムの基礎、量子コンピュータの歴史と到達点、量子コンピュータと人工知能論等について解説。



第7回 UXクリニック～UI/UXに関する悩みを専門家に無償相談～

(主催：UX Tech 研究会)

開催日：2020年11月12日(木)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：3社(限定)

テーマ：UXクリニック～UI/UXに関する悩みを専門家に無償相談～

メンター：安藤 幸央氏 (株式会社エクス Smart システム開発本部・企画部/米国Google公認 デザインスプリントマスター)

参加者感想：

相談事項に対して的確に、かつ違う角度から指摘をいただき大変勉強になりました。

考えていたことと違う視点のアドバイスをいただきました。すぐに着手できそうで効果の高い改善案だったため、今後どう考えて取り組んでいけばよいか大変参考になりました。

今まで当社製品に対し、顧客以外(同業他社など)からのご意見・アドバイスなどを頂く機会がなかったため、参考となるご意見をお伺いすることができました。ありがとうございました。

情報提供セミナー・説明会

技術

中国先端テクノロジーが切り拓くアフターコロナの世界 ～2 大企業から学ぶ 5G・クラウド戦略～

(主催：技術委員会)

開催日：2020年11月25日(水)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：25社34名

タイトル1：アリババクラウドのテクノロジーが切り開くアフターコロナの世界 ～アフターコロナを見据えた戦略とトレンド～

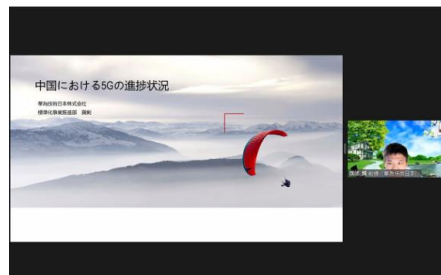
講演者1：大和田 健人氏 (アリババクラウドジャパン シニアリサーチャー)

講演概略1：アリババクラウド及び DAMO アカデミーが実際に開発した製品・サービスをご紹介しますと共に、アフターコロナ時代を見据えた戦略やトレンドについて講演。

タイトル2：中国における5Gの進捗状況

講演者2：龔 剣氏 (華為技術日本株式会社 標準化事業推進部・シニアマネージャー)

講演概略2：中国ではスマートフォンとモバイルインターネット産業が爆発的な成長を果たし、凄まじいインパクトを与えた企業を育て、5Gイノベーションおよび新サービスがどのように発展してきたのか、事例を交えて講演。



「絵と解説でわかる量子コンピュータの仕組み」

(主催：AI・量子計算技術研究会)

開催日：2020年11月26日(木)

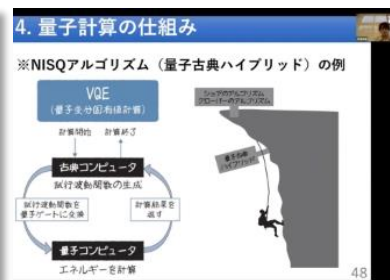
会場：オンライン (Zoom)

参加実績：31社46名

タイトル：『絵と解説でわかる量子コンピュータの仕組み』

講演者：宇津木 健氏

講演概略：量子コンピュータの基本的な仕組みについて、著書（絵で見てわかる量子コンピュータの仕組み）に沿って解説。まず、「量子コンピュータってなに？」という素朴な疑問から始めて、量子ビットや量子計算、量子アルゴリズムの概要を説明し、また、現在主流の超伝導回路を用いた量子ゲート方式の開発状況、量子アニーリングや、イオントラップ型、シリコンスピン型、フォトリソグラフィ型など様々な物理系により実現されている量子コンピュータ開発の状況を紹介。



情報提供セミナー・説明会

技術

オランダスマート農業バーチャル視察～世界から注目されるオランダ施設園芸の特徴とトレンドとは～

(主催：農業 ICT 研究会)

開催日：2020年12月8日(火)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：30社48名

講演者：水城 悠氏 (Greenbridge International ディレクター)

講演概略：世界第2位を誇る農業輸出国であるオランダ農業の概要・特徴と、サステナビリティの気質を活かした取り組みについて、様々な事例を交えて紹介。その後、事例の一つとして取り上げた、最先端の設備を備えたパブリカ農家について、VTR (過去の視察の映像) を観ながら実況解説をふまえ説明。



セキュリティ

米国国防権限法等に基づく米国政府の中国締め出し政策の日本企業への影響について

(共催：CSAJ セキュリティ委員会/Software ISAC・ブレイクモア法律事務所)

開催日：2020年10月20日(火)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：88社111名

タイトル：米国国防権限法等に基づく米国政府の中国締め出し政策の日本企業への影響について

講演者：JOHN P. KABEALO 氏 (米国弁護士、国家安全保障規制の専門家、ワシントン DC)

Joanna Ritcey-Donohue 氏 (米国弁護士、輸出入規制の専門家、ワシントン DC)

コーディネーター：平野 高志 弁護士

(ブレイクモア法律事務所パートナー、IPA モデル契約見直し部会座長、元マイクロソフト法務部長)

伊勢知 紘 弁護士 (ブレイクモア法律事務所 アソシエイト)

MARK A. STOCKWELL 氏 (ブレイクモア法律事務所 外国法事務弁護士 (米国コロラド州))

講演概略：米国国防権限法等に基づき、ファーウェイ、ZTE、ハイクビジョン、ダーファ・テクノロジー、ハイテラ等の中国企業の製品を米国政府が調達を禁止した背景から企画され、この法律およびその他の米国の法律には域外適用があることから、これら製品を組み込むこと、これらの製品を自社のネットワークにつなぐこと等が日本企業にも影響が及ぶ可能性があるとしてされており、これらの問題について、専門としている米国ワシントン DC の弁護士から解説。



情報提供セミナー・説明会

地域 IoT 推進

CSAJ 顔認証アイデアソン 2020 アワード

(主催：顔認証ビジネス研究会)

開催日：2020年7月16日(木)

会場：オンライン (Zoom) +CSAJ 会議室

参加実績：43名

受賞作品：最優秀賞 「オンライン授業におけるリアクションの見える化」 株式会社鈴木商店

優秀賞 「SR?(SAFR SMORKER)」 株式会社クリエイション

優秀賞 「顔認証とQRコードを活用した電子捺印サービス」 株式会社ラネクシー

基調講演：5G時代の顔認証×対話AIロボットソリューション～SAFRを活用した新たなビジネス創造～

講演者：伊澤 諒太氏(株式会社ハタブロ 代表取締役)

講演概略：NTTドコモ5Gソリューションコンテストで優勝した株式会社ハタブロの画像認識・対話AIを活用したケアロボットZUKKU(ズック)による「ヘルスケアステーション+d」の概要と今後の展開など、顔認証機能を活用し具体的な事業化を進めている実例を紹介。



【Online】学生起業から東証マザーズへの上場を果たしたビジネスチャット「Chatwork」の創業から20年の歴史

(主催：地域IoT推進委員会)

開催日：2020年8月26日(水)

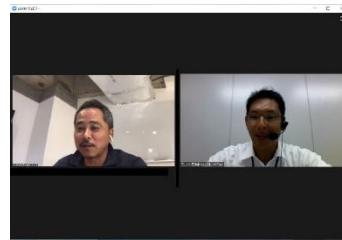
会場：オンライン (Zoom)

参加実績：26社39名

タイトル：学生起業から東証マザーズへの上場を果たしたビジネスチャット「Chatwork」の創業から20年の歴史

講演者：山口 勝幸氏 (Chatwork株式会社 取締役副社長 COO)

講演概略：学生起業のスタートから東証マザーズ上場までの20年の長い道のりと、従来の電話やメール、FAXなどのビジネスコミュニケーションを効率的に変えるビジネスチャット「Chatwork」のこれまでの歴史や今後の展望について解説。



情報提供セミナー・説明会

その他

20～30代若手社員向け自然と周囲に人が集まる「とっておきの3つの秘訣」

(主催：CSAJ 広報 WG)

開催日：2020年7月10日(金)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：12社43名

タイトル：[第1回 自然と周囲に人が集まる人間心理](#)

講演者：芳村 瑞恵氏 (株式会社アイソルート コミュトレ・インストラクター)

講演概略：20～30代の若手社員を対象とした個々の「魅力」を高めるセミナーを、株式会社アイソルート様協力のもと、全3回のシリーズものとして企画・開催しました。第1回目は、初めに簡単な自己分析を行ったのち、他者を理解することの難しさや、チームを組んだ時の相乗効果の可能性などについて述べました。そして、人間が求める「承認欲求」を満たすことが重要であること、そのために必要なポイントを説明し、受講者同士でグループワークを通して実践しました。

開催日：2020年9月10日(木)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：18社53名

タイトル：[第2回 コロナ禍でも活かせる「会話力」](#)

講演者：芳村 瑞恵氏 (株式会社アイソルート コミュトレ・インストラクター)

講演概略：第2回は、「会話力」をテーマに開催、ポジティブな会話が相手から好感を得ること、お互いの共通点を見つけて相手を知ること、さらにそこから質問を相手に投げかけていくことが雑談力をあげるコツであるとして、グループワークで実践しました。コロナ禍でマスク・オンラインを通じてのやりとりが中心な昨今、表情が見えづらい状況において、身振り手振りを交えたリアクションや、いつも以上に笑顔を意識することなど、コロナ禍でも生かせるテクニックも交えた内容で、参加者たちはコミュニケーションの大切さを再認識したようでした。

開催日：2020年11月19日(木)

会場：オンライン (Zoom)

参加実績：21社48名

タイトル：[第3回 人生を豊かにする「話し方」](#)

講演者：芳村 瑞恵氏 (株式会社アイソルート コミュトレ・インストラクター)

講演概略：最終回である第3回は「話し方」をテーマに開催、自信が身につく会話術とわかりやすい説の仕方について、ポイントを説明したのち、受講者同士で理想的な働き方について、グループワークで実施しました。最後のワークでは、これまでのセミナーで学んだ経験をもとに、グループ同士で交流しながら、「今後 CSAJ で実施・企画してほしい研修テーマ」について、ディスカッションを実施、参加者それぞれから各グループで出た企画について、投票を行ったところ、「怒られたときの対処方法」が一番得票数を得る結果となりました。参加者からは意識することで変わった、楽しかった、交流を楽しみながら学べる点良かった、と大変好評の声をいただきました。



今後開催予定セミナーのご案内

1月・2月開催セミナー

サイバー攻撃への対策は急務！自社プロダクトのセキュリティチェックと他社契約時のセキュリティ仕様を総点検する

(主催：セキュリティ委員会／Software ISAC)

開催日：2021年1月14日(木) 16:00～17:30

会場：オンライン (Zoom)

AIをビジネスに導入するためのデータプレプロセッシング極意

(主催：技術委員会)

開催日：2021年1月15日(金) 15:00～17:00

会場：オンライン (Zoom)

法務・知財委員会主催 有料企画講座【全3回】令和時代の労働雇用問題

～コロナ禍やニューノーマルの様々な労働雇用問題における対応を整理～

(主催：法務・知財委員会)

開催日：2021年1月21日(木) 16:00～17:30

会場：オンライン (Zoom)

第37回経営力向上セミナー ニューノーマルで考える働き方戦略とは？

～これからの働き方戦略の立案をワークショップ形式で～

(主催：経営力向上研究会)

開催日：2021年1月25日(月) 15:30～17:30

会場：オンライン (Zoom)

UXの概念と評価の考え方

(主催：UX Tech 研究会)

開催日：2021年1月26日(火) 15:00～16:30

会場：オンライン (Zoom)

量子コンピュータソフトウェアビジネス入門

(主催：AI・量子計算技術研究会)

開催日：2021年1月29日(金) 15:00～16:30

会場：オンライン (Zoom)

第138回アライアンスビジネス交流会

(主催：アライアンスビジネス交流会)

開催日：2021年2月2日(火) 15:30～17:40

会場：オンライン (Zoom)

今後開催予定セミナーのご案内

2月・3月開催セミナー

国土強靱化とサイバーセキュリティ～DX時代に必要な人材とは～

(主催：人材委員会)

開催日：2021年2月4日(木) 15:00～17:00

会場：オンライン (Zoom)

越智徹の Deep Learning 狂詩曲 ～第2弾 『自然言語』で Try!～

(主催：技術委員会)

開催日：2021年2月4日(木) 14:00～17:00

会場：オンライン (Zoom)

第36回座談会開催案内

パンデミック下における法的な諸問題 ～就業規則の留意点～

(主催：法務・知財委員会)

開催日：2021年2月9日(火) 15:30～17:00

会場：オンライン (Zoom)

生産性向上訓練第5弾 「サービスマネジメントによる品質改善と向上」

～DXによるサービスマネジメントや品質の変化～

(主催：人材育成研究会)

開催日：2021年2月17日(水)、18日(木) 各10:00～17:00

会場：CSAJ会議室

ミャンマー/タイにおけるDXとIT人材

～各国現地企業とリアルタイム・ディスカッション～

(主催：国際委員会)

開催日：2021年2月18日(木) 15:00～16:30

会場：オンライン (Zoom)

法務・知財委員会主催 有料企画講座【全3回】令和時代の労働雇用問題

～コロナ禍やニューノーマルの様々な労働雇用問題における対応を整理～

(主催：法務・知財委員会)

開催日：2021年2月24日(水) 16:00～17:30

会場：オンライン (Zoom)

第2回「IT人材不足対策セミナー」 -就職氷河期世代 (IT検証技術者/システム運用技術者) の人材発掘と企業とのマッチングに向けて-

(主催：キャリアサポートセンター)

開催日：2021年3月2日(火) 13:00～15:00

会場：オンライン (Zoom) +CSAJ会議室

今後開催予定セミナーのご案内

3月開催セミナー

生産性向上訓練第6弾

「管理者のための問題解決力向上」～DX時代における管理者の在り方～

(主催：人材育成研究会)

開催日：2021年3月3日(水)、4日(木) 各10:00～17:00

会場：CSAJ会議室

インドのIT・イノベーション最新動向セミナー～国民IDのデジタル化や企業動向について現地から～

(主催：アジアビジネス研究会)

開催日：2021年3月4日(木) 15:00～16:30

会場：オンライン (Zoom)

AWSのフルマネージドな量子コンピュータ Amazon Braket

(主催：AI・量子計算技術研究会)

開催日：2021年3月5日(金) 15:00～16:30

会場：オンライン (Zoom)

第1回「厚生労働省受託事業 合同就職面接会」-就職氷河期世代 (IT 検証技術者/システム運用技術者) の人材と企業とのマッチング-

(主催：キャリアサポートセンター)

開催日：2021年3月11日(木) 10:00～18:00

会場：オンライン (Zoom)

ニュースリリース

2020年7月1日(水)

U-22 プログラミング・コンテスト 2020 最終審査会をオンライン開催、7月1日応募受付開始!

41回目となるU-22プログラミング・コンテスト2020はいよいよ7月1日から応募受付を開始しました。今年は新型コロナウイルスの影響で多くの学校が休校となり、授業の遅れを取り戻すため、土曜授業や夏休みの短縮などの対応も予想されています。そこで今年は、応募期間を延長、9月14日(月)までとし、最終審査会は11月29日(日)、応募者本人の自宅、学校など地元からオンラインプレゼンテーションで開催する運びとなりました。最終審査作品16作品は、オンラインでプレゼンテーションができるため、リラックスした環境の中、今まで以上に力が発揮できます!

2020年8月12日(木)

就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業 ～IT 検証技術者・システム運用技術者研修コースの受講者募集開始～

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会(略称「CSAJ」)では、2020年8月11日より、厚生労働省より受託した就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業において、短期資格取得コースの開発を経て、以下の2つの研修コースの受講者の募集を開始しました。この事業は、就職氷河期世代の方を対象としたIT人材の育成から就職支援までを行う令和2年度から令和4年度までの3年事業として実施するものです。

■2つの研修コース

ITエンジニアへの道、新たなキャリアを築いてIT業界やIT部門への就職を目指しましょう!!

- IT検証技術者研修コース
- システム運用技術者研修コース

2020年9月3日(木)

OWASP「アプリケーションセキュリティ検証標準 4.0」の日本語邦訳文書公開について

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会(東京都港区赤坂、会長:荻原紀男、株式会社豆蔵ホールディングス代表取締役会長兼社長、以下「CSAJ」)は、Software ISAC(代表:荻原健太、グローバルセキュリティエキスパート株式会社)で実施した「OWASPアプリケーションセキュリティ検証標準 4.0」の日本語邦訳文書を公開しました。

OWASPアプリケーションセキュリティ検証標準(以下「ASVS」)は、アーキテクト、開発者、テスター、セキュリティ専門家、ツールベンダ、アプリケーション利用者などが、最新のWebアプリケーションおよびWebサービスを設計、開発、テストする際に必要となる、機能的および非機能的なセキュリティ対策の定義に焦点を当てた、セキュリティ要件や対策の枠組みを確立するためのドキュメントです。

OWASPの長年にわたる取り組みとASVSを利用する業界からのフィードバックの集大成となっており、安全なソフトウェア開発のライフサイクルを通して、さまざまなユースケースに簡単に採用できるようになっています。

ニュースリリース

2020年10月14日（水）

[U-22プログラミング・コンテスト 2020 事前審査結果を発表、40 作品が一次審査へ！！](#)

「U-22プログラミング・コンテスト」を主催するU-22プログラミング・コンテスト実行委員会は、U-22プログラミング・コンテスト2020において、エントリー348作品（応募者総数1,201名）のうち、事前審査を通過した40作品を発表しました。

通算41回目の開催となるU-22プログラミング・コンテスト2020は、withコロナ対応として、応募締切を延長し、最終審査会を11月29日（日）に変更するほか、オンラインによるプレゼンテーション審査とし、新たなスタートを切りました。

2020年11月4日（水）

[U-22プログラミング・コンテスト 2020 最終審査に進む16作品を発表！40年の歴史で初となるオンラインプレゼンテーションで経済産業大臣賞がいよいよ決定！](#)

国内のIT人材発掘・育成を目的に、1980年に経済産業省主催でスタートしたU-22プログラミング・コンテストは、2014年の民間移行後も、同趣旨に賛同いただく協賛企業の支えのもと、41回目を迎え、このたび最終審査に進む16作品を決定、発表しました。

これまで、全ての審査は、関係者が一同に集い、プレゼンテーション、審査を行ってまいりました。今年は、他のイベント同様、新型コロナウイルスにより、スケジュール変更をはじめとする影響が、少なからずありました。しかし一方で、テクノロジーの進化とインターネットの普及により、コンテストをオンラインで開催できる時代へと遷移し、ステップアップを迎える節目の年にもなりました。今年は5G元年ともいわれていますが、今後さらに5Gが広がることにより、オンライン開催が「主流」となる日も目前に迫っており、今年最終審査会はそれに先行した、試験的な開催年を迎えることとなります。

2020年11月30日（月）

[【速報】U-22プログラミング・コンテスト2020、最終審査会で各賞決定！！経済産業大臣賞〈総合〉は医大生2名による高齢者の自動車運転に関する課題をテーマにした作品が受賞](#)

「U-22プログラミング・コンテスト」を主催するU-22プログラミング・コンテスト実行委員会（実行委員長：青野慶久（サイボウズ株式会社 代表取締役社長））は、2020年11月29日（日）に行われた最終審査会において、入選16作品を審査、経済産業大臣賞をはじめとする各賞を決定しました。

今年のU-22プログラミング・コンテスト最終審査会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、制作者本人はオンライン上からの参加となりました。制作者たちの中には、オンラインによるプレゼンテーションを初めて経験するという者も多く、慣れない環境下でのプレゼンテーションとなりましたが、全員が素晴らしい発表を行い、デジタルネイティブ世代の強さを感じるとともに、昨今の社会問題をテーマにした作品や、数年後の世代の人材育成を目的とする作品など、素晴らしい作品が集結し、盛況のうちに終了しました。

ニュースリリース

2020年12月1日(火)

ソフトウェア出荷判定セキュリティ基準チェックリストをバージョンアップ 新しく発見された脆弱性を追加するなど項目数・使いやすさが大幅 up

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会(略称「CSAJ」、東京都港区赤坂)は、2016年に公開した、パッケージソフトウェアやWebサービスのセキュリティ品質を向上させるための「ソフトウェア出荷判定セキュリティ基準チェックリスト」について、新しく発見された脆弱性に関する記述を追加するなど、内容を全面的に見直した「Ver.1.2」を発表しました。

本チェックリストは初版が2016年に公開され、ソフトウェア開発を行う技術者や品質管理担当者より好評を博しておりましたが、4年間の時を経て、「プロトコルやアルゴリズムに脆弱性が発見され推奨されなくなった」、「新たな脆弱性が発見された」、「利用者の要求に変化がみられた」、などの要因から、CSAJセキュリティ委員会およびSoftware ISACメンバーにて全面的な見直しが行われました。

本チェックリストを活用することで、セキュリティをソフトウェア品質の一環として捉え、開発現場での仕様策定や出荷テストの際の評価項目として幅広く利用できるほか、技術者のスキルアップにも活用できる内容となっています。

2020年12月8日(火)

ランサムウェアからソフトウェア開発企業を守るためのガイドライン 指針となる具体的な対策手法を提案

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会(略称「CSAJ」、東京都港区赤坂)セキュリティ委員会/Software ISACは、被害が急拡大しているランサムウェアから、ソフトウェア開発企業を守るための注意喚起とガイドラインを発表しました。今後、CSAJ会員への遵守の呼びかけと啓発活動を行ってまいります。

10か条

1. 開発端末での電子メール閲覧の禁止
2. 一般業務と開発業務の端末・ネットワークの分離と脆弱性管理
3. 開発業務でのコミュニケーションにはビジネスチャットを利用
4. Office マクロ(VBA)、PowerShell スクリプトへの電子署名とポリシーの適用
5. ソースコード、重要データのバックアップと分離
6. ローカル Administrator のパスワードはすべてユニークに設定
7. 一般業務での管理者権限の利用禁止
8. アンチウイルスソフトのクイックスキャン、完全スキャンの定期実行と脆弱性修正プログラムの適用訂正の整備
9. ユーザー教育・社内啓発
10. 管理端末のネットワーク分離

報告書

U-22プログラミング・コンテスト 2020 実施報告書

2020年開催にあたっては、新型コロナウイルスに伴う学校休校と夏休み短縮の影響を考慮し、当初スケジュールを変更して開催、全応募 348 作品より、事前審査・一次審査を経て、最終審査にすすむ 16 作品を選出、11月29日(日)に初のオンラインによるプレゼンテーションで最終審査会を実施、経済産業大臣賞をはじめとした各賞が決定し、成功裏に終了いたしました。

参加者は初めてオンラインプレゼンテーションを経験する学生も多く、オンラインのメリット・デメリットを感じながら、コンテストを楽しんでいるようでした。

今回は社会的な課題解決をテーマにした作品が多く、経済産業大臣賞<総合>には医大生 2 名による高齢者の自動運転能力を AI を用いて測定する「AI を用いた自動車運転能力測定装置」が受賞するほか、点字を翻訳する「点体望遠鏡」が<プロダクト>を、新型コロナウイルス対策の COCOA を補完する「3密チェッカー」が<テクノロジー>を音符を AI による画像認識で読み取る「deepMusa」が<アイデア>を受賞しました。



実施事業

プライバシーマーク審査事業

1. プライバシーマーク審査判定委員会 (2020年4月～12月)

個人情報保護に関する学識経験者等を委員委嘱し、プライバシーマークの付与適格性審査や個人情報事故措置審議を行う第三者委員会として、計8回の委員会を開催し、付与適格決定74社（更新51社、新規21社、組織変更2社）、個人情報事故措置13件を決定致しました。

2. 2020年度プライバシーマーク審査事業実施状況 (2020年4月～12月)

	更新	新規	合計	合計値 前年度対比	入会 数	他審査機 関からの 乗換	更新辞退 /退会/ 審査機関 変更	Pマーク 実質増減数
2019年 度実績	112社	31社	143社	105.1%	35社	3社	61社	-27社
2020年 度経過	93社	24社	117社	81.8%	35社	0社	5社	19社

※実績は、審査中を含む。

3. 申請様式、申請方法、審査料等

申請様式、申請方法、審査料等については、以下のURLをご参照下さい。

<http://www.csaj.jp/activity/project/pmark/index.html>

実施事業

厚生労働省受託事業「次世代 AI 人材育成訓練プログラム」

令和元年度より厚生労働省から受託した本事業では、「高度 IT 技術を活用したビジネス創造プログラム」の AI 分野を独立させて深掘すべく、プログラム検討委員会および検討ワーキンググループを組織し、活動してまいりました。

初年度となる令和元年度は、委員会を 6 回、検討ワーキングを 1 回、北海道大学等への先端技術視察などを開催した他、AI 導入人材確保に関するアンケート/ヒヤリングおよびテスト（試行）を実施しました。また、人工知能（AI）技術研究会との共催による AI セミナーを 2 回開催いたしました。

令和 2 年度は、上記活動に基づき開発された全 124 時間の教育訓練プログラムを、27 名の受講生に対して、東京/大阪の 2 会場で、さらに、新型コロナウイルス感染防止の観点からオンライン講義も併用しながら実施いたしました。

受講者からのアンケート結果や検討委員会で挙げられた意見を基に、さらなるプログラムの改善を進めるとともに周知活動案をまとめ、厚生労働省へ提出する予定です。

https://www.csaj.jp/activity/project/ai_pgm/index.html



ご案内

U-22 プログラミング・コンテスト 2021 スポンサー企業募集中！

https://www.csaj.jp/NEWS/activity/u22/2021_sponsors.html

U-22 プログラミング・コンテスト 2021 開催に先立ち、スポンサー企業の募集を開始いたします。

あらゆる産業でデジタルトランスフォーメーション（DX）が求められる中、従来より IT 化の遅れが課題となっていた学校においても、GIGA スクール構想によって、1 人 1 台の PC 端末とネットワーク整備が実現しようとしています。そして、昨年からはスタートした小学校におけるプログラミング教育必修化と、その後の段階的な「情報教育」の充実により、「プログラミング」は誰でも触れる機会をもつ身近なものとなりました。

当コンテストは「プログラミング」を用いて、自らの自由な発想・アイデアを形にし、新しい未来を創造する若者を応援するコンテストです。最終審査会では制作者本人が作品概要・特徴・アピールなどをプレゼンテーションで発表、その様子はオンライン配信で一般公開され、毎年多くの視聴者から好評の声をいただいています。

協賛企業においては、優秀な人材の確保、認知度・企業イメージ・ブランドの向上、社会貢献など、協賛ランクに応じて、複数のメリットがあります。国内外で活躍する次代の若者たちと一緒に応援し、盛り上げていきませんか？たくさんのお申込みお待ちしております。

▼参考：コンテストの様子

[U-22 プログラミング・コンテスト公式 Web サイト](#)

[U-22 プログラミング・コンテスト 2020 開催レポート](#)

[U-22 プログラミング・コンテスト 2019 最終審査会](#) (Movie)



【スポンサーメリット抜粋】 ※ランクに応じて様々な特典があります。

内容/ランク	ダイヤモンド 500万円	プラチナ 300万円	ゴールド 200万円	シルバー 100万円	ブロンズ 50万円	応援団 5万円
制作物社名掲載 (チラシ・ポスター・Webサイト)	ロゴ特大	ロゴ大	ロゴ中	ロゴ小	社名	社名 (Webのみ)
U-22メールマガジン広告枠	ヘッダ社名掲載 ・概要・広告	社名・ 概要・広告	社名・ 概要・広告	社名・概要	社名・概要	社名
会社カタログ・ノベルティ配布	○	○	○	○	○	○
Web・SNS広告媒体ロゴ掲載	○	-	-	-	-	-
最終審査会特別講演枠提供	○	-	-	-	-	-
表彰式社名掲載	○	-	-	-	-	-
最終審査会社名掲載	ロゴ特大	ロゴ大	ロゴ中	ロゴ小	社名	-
実行委員会・審査委員会への参加	○	○	○	-	-	-
企業賞実施	○	○	○	-	-	-
最終審査会CM枠提供	○	○	○	-	-	-
会社見学・セミナーの実施	○	○	○	-	-	-
応募者へのコンタクト	○	○	○	-	-	-

ご案内

就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業

ITキャリアUPプロジェクト | 学ぶ・働く・新たな未来へ

ゼロからのスタート

正社員としてのスタートが
このプログラムの**Goal!**



厚生労働省より受託した就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業において、短期資格取得コースの開発を経て、以下の2つの研修コースの受講者を募集しています。詳細は、公式 Web サイト(<https://www.it-careerup.jp/>)をご参照ください。

2つの研修コース | 東京・大阪・名古屋で開催します。

ITエンジニアへの道、新たなキャリアを築いて、IT業界やIT部門への就職を目指しましょう!!

IT 検証技術者コース

システムテストは、システムの品質に直結しますので、品質管理のスキルアップによって非常に高いレベルまでキャリアを積むことができます。

今回は、そのスタートラインであるIT検証技術者認定試験 (IVEC) のIT検証技術者レベル1を取得しますが、その後レベル7まで取得が可能です。

IT検証技術者認定試験 (IVEC) は、一般社団法人IT検証産業協会 (IVIA) が認定するテストエンジニア向けの試験です。

システム運用技術者コース

IT知識ゼロという方であっても、情報ネットワーク・セキュリティ検定の合格に向けた学習により、ITの基礎知識を身につけることができます。

監視業務、システム運用操作、システム環境構築技術者向けの運用環境 (ネットワーク環境、サーバ、仮想化、セキュリティ等) に関する知識を段階的に習得し、システムの運用管理者を目指します。

一般社団法人日本ビジネス技能検定協会が実施するシステムの運用管理者を目指す入門的資格試験で、初心者を対象とした試験です。

申込み資格 ※詳細はサイトをご確認ください。 <https://www.it-careerup.jp>

- ①基準日において、35歳以上55歳未満の方。
- ②基準日において、離職している(学校を卒業して就職していない場合も含む)又は、非正規社員(期間の定めがある雇用など)として働いており、正社員などの安定した雇用を希望している方。
- ③他の短期資格等習得コース、公共職業訓練、求職者支援訓練、教育訓練給付制度の指定訓練、建設労働者育成支援事業、その他国及び地方公共団体の事業として行われる職業訓練を現在、受講していない方。また、受講する予定もない方。または、過去に受講したことはあるが、受講終了日から1年以上経過している方。
※令和2年9月までに訓練を終了した方については、受講終了日から1年を経た後も、本コースの受講は可能となります。
- ④以下のいずれかに該当する方。
 - ・基準日から直近1年間に正社員として雇用されたことがなく、直近5年間にいても正社員経験が通算1年以下の方
 - ・直近1年間に、臨時的・短期的な就業を繰り返す、あるいは臨時的・短期的な就業と失業状態を繰り返すなど、不安定就業の期間が長い方
 - ・直近1年間に、非正規雇用の就業経験が多い、あるいは就職後の就業期間が短いなど、安定した就業の経験が少ない方

※「基準日」は、お申込みいただく訓練の開始月の前月の末日になります。
※「正社員」は、期間の定めがない雇用を指します。
※システム運用技術者・土日コースの対象者は「求職中の非正規雇用労働者や雇用される企業等において非正規から正規雇用への転換を目指す非正規雇用労働者」に限ります。

研修時間 ※研修時間は内容によって変更される場合があります。
平日コース：10:00～17:00
土日コース：10:00～18:00

日程表

IT 検証技術者コース

開催	研修日程	東京	名古屋	大阪
第3回	2021年 5月 6日～ 6月30日	○	—	—
第4回	2021年 7月 1日～ 8月30日	○	○	—
第5回	2021年 10月 1日～11月29日	○	○	○
第6回	2022年 1月 5日～ 3月 4日	○	—	○

※2022年5月以降も開催予定

システム運用技術者コース

開催	研修日程	東京	名古屋	大阪
第3回	2021年 5月 6日～ 6月30日	—	○	—
土日開催	2021年 5月 8日～ 6月27日	○	—	—
第4回	2021年 7月 1日～ 8月30日	○	—	○
第5回	2021年 10月 1日～11月29日	○	○	○
第6回	2022年 1月 5日～ 3月 4日	○	—	○

※2022年5月以降も開催予定

会場

【東京会場】ウチダ人材開発センター 研修室
〒130-0015 東京都豊田区横綱 1-6-1 国際ファッションセンタービル
(最寄駅:都営地下鉄大江戸線・JR総武線 両国駅)

【名古屋会場】TKP名古屋伏見ビジネスセンター
〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2丁目8-26 宮井名古屋ビル
(最寄駅:名古屋地下鉄 丸の内線または伏見駅)

【大阪会場】TKP大阪御堂筋カンファレンスセンター
〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町3-5-13 創建御堂筋ビル
(最寄駅:大阪メトロ御堂筋線 淀屋橋駅または本町駅)

就職氷河期世代の方向けの
短期資格等習得コース事業



【主催】一般社団法人 コンピューターソフトウェア協会
〒107-0052 東京都港区赤坂1-3-6
赤坂グレースビル
<https://www.it-careerup.jp>





品質の見える化

PSQ認証制度は、世界に通用する国産ソフトウェア製品の品質を認証するしくみです。

新 PSQ 認証制度 申請製品募集中！

ソフトウェア製品品質の国際規格 ISO/IEC25051:2014 に準拠した第三者適合性評価で、貴社製品をもっとアピール！

PSQ 認証制度は、CSAJ が、国産既製ソフトウェア製品／クラウドサービスの品質の高さを世界で通用することを証明するために制定した認証制度で、国際規格である ISO / IEC 25051:2014 を評価基準として参照して構築した品質認証制度です。認証制度には自社で完結する簡易認証、ドキュメントによる第三者認証、実機検証による第三者認証まで簡易なレベルから、より高度な評価・認証までラインナップ化しております。

- ・ PSQ-Lite <簡易認証>
- ・ PSQ-Standard <評価機関によるドキュメントでの第三者認証>
- ・ PSQ-Premium <独立評価機関による実機検証での第三者認証>

<https://www.csaj.jp/activity/project/psq/index.html>



ISO/IEC 25051:2014



ISO/IEC 25051:2014

認証申請、お問い合わせ先（PSQ 認証制度、マイナンバー対応ソフトウェア認証制度）

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 PSQ 認証室

TEL:03-3560-8440 E-mail:psq_info@csaj.jp

ソフトウェア品質保証宣言 「ソフトウェア品質向上宣言」申請企業募集中！

自社のソフト開発に対する品質への取組をアピールするなら！

CSAJ では、ソフトウェア開発企業が自社で開発目標を掲げ、高品質な製品提供ができるような基準を持って、製品出荷を実施（予定含む）する品質向上に向けた自社の活動を宣言書に基づき宣言し、取引先や見込み顧客に向けて自助努力を説明しやすくすることを目的としたソフトウェア品質向上宣言を開始しました。品質宣言条項（フォーマット）への記載と提出のみで証明ロゴマークを提供しますので Web サイト、カタログ等で積極的なアピールに活用可能です。

https://www.csaj.jp/activity/project/SW_Declare/index.html



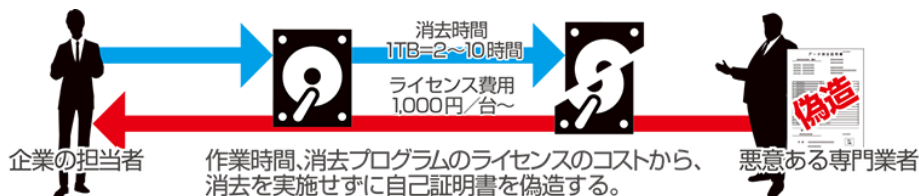
データ適正消去証明書発行事業



データの適正な消去のあり方を調査・研究し、その技術的な基準を策定するとともに、これに基づいてデータの適正消去が実行されたことを証明するための第三者的な証明制度の普及・啓発を図り、もって我が国における健全で安心安全な循環型 IT 社会の実現に寄与することを目的として設立された「データ適正消去実行証明協議会(略称 ADEC)」からの委託を受け、一般社団法人コンピュータソフトウェア協会では、「データ適正消去実行証明書」を発行します。

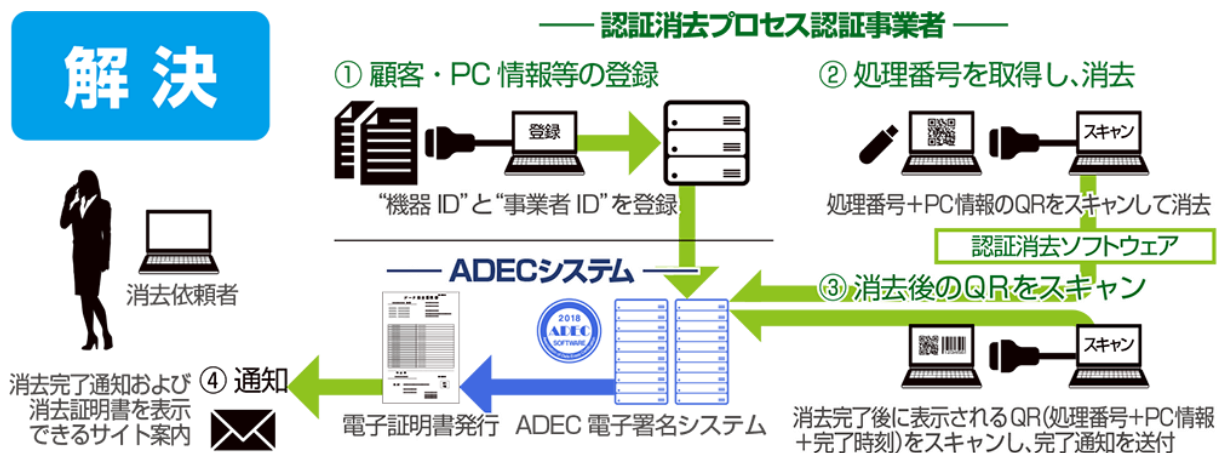
一般社団法人コンピュータソフトウェア協会が、第三者として「データ適正消去実行証明書」を発行することにより、より健全で安心安全な循環型 IT 社会の実現を目指していきます。

問題



消去事業者の作業報告書(自己証明書)では、作業を実施したか確認できない。

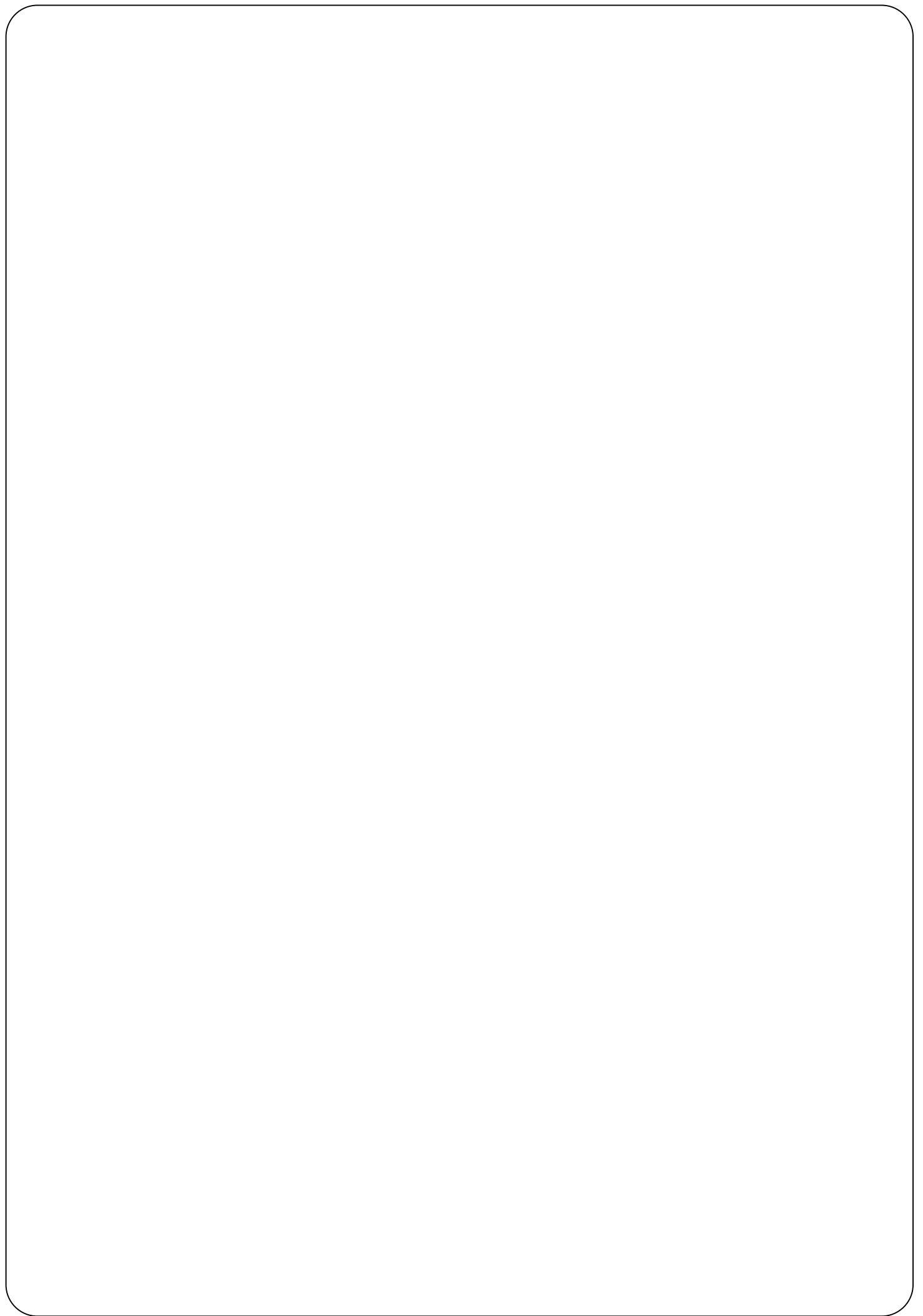
解決



第三者が証明することで、適正な消去を行ったことが証明できる。



ADECで認証された「消去ソフトウェア」のメーカーおよび「消去サービス事業者」として認証された企業様と協力し、パソコン等のデータが適正に消去されたことを証明する「データ適正消去実行証明書」を発行します。



CSAJ 活動 Pickup

2020年7月～12月

2021年2月25日発行

 **Computer Software Association of Japan**
一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

〒107-0052
東京都港区赤坂1-3-6
赤坂グレースビル
TEL : 03-3560-8440
FAX : 03-3560-8441
<https://www.csaj.jp/>